

# 競技注意事項

## 1. 競技規則について

本大会は、2022年度日本陸上競技連盟競技規則並びに本大会申し合わせ事項により実施する。

## 2. 招集について

招集とは、エントリーされている種目に競技者本人が最終的に出場するか欠場するかの確認作業です。現在、陸上競技の大会運営はシステム化されていて、様々な電子機器を使用して記録を測定し、結果を発表しています。その際、競技者がその種目に出場するか欠場するかの入力作業ができず、競技が進められなくなってしまいます。そのため出場不明の競技者は「棄権」と判断せざるを得ないのです。「棄権」と判断することは競技規則に記されていて、試合規模の大きさに関わらず厳しく判定されます。この度の招集方法については、新型コロナウイルス感染拡大を防止し「3密」を避けるため、これまでの招集とは異なる方法を用いるので、下記の要領を確認してのぞむこと。

## 3. 招集方法

### (1) 招集方法

- ① 招集所は、第1ゲート外側付近に設ける。
- ② 招集完了時刻の5分前までに、本人または代理人は招集所で「出場チェック表」に、出場の場合は○印を記入する。欠場の場合は×または取り消し線を引き、「棄権届」を招集所に提出すること。
- ③ トラック競技者は、自分のレーンの腰ナンバーシール1枚を競技用パンツの右腰やや後方に張り付けること。長距離種目(3000m以上)は腰ナンバーシールと胸ナンバーシールを受け取り、腰と胸にそれぞれ貼ること。
- ④ 招集所で集合することなく、招集完了時刻までにトラック種目はスタート地点に、フィールド種目はピットにて係の点呼を受けること。
- ⑤ ユニフォーム、ナンバーカード、スパイクの長さ、シャツ、バッグ等、商標の点検は自ら行い、競技場内で係から指摘を受けることをないようにすること。詳細については下記、10. 一般注意事項(1)及び「競技会における広告及び展示物に関する規程」を参照すること。
- ⑥ 規定の厚さ以上のシューズを履いて競技に参加することはできないので注意すること。

### (2) その他

- ① 多種目同時に出場する競技者は、あらかじめその旨を本人または代理人が多種目同時出場届に記入し、最初の種目の招集完了時刻5分前までに招集所に提出する。
- ② リレー競技に出場するチームは、所定の「オーダー用紙」を各ラウンドの第1組の招集完了時刻1時間前までに招集所に提出する。
  - (ア) 予選では、「オーダー用紙」(複写3部綴)に記入、1部提出、残り2部を控として受け取る。
  - (イ) 決勝では、予選提出の控に加筆、1部提出、残り1部を控として受け取る。
- ③ 出場競技種目を棄権する場合は、棄権届を招集完了時刻までに招集所に提出する。
- ④ 次の競技者は、該当種目を棄権したものとみなし処理する。
  - ・ 出場チェックを定刻までに記入しなかった。
  - ・ 招集完了時刻に遅れた。
  - ・ リレーのオーダーを定刻までに提出しなかった。

### 3. 競技の抽選及び番組編成について(レーン順・試技順)

- (1) トラック競技の予選のレーン順・フィールド競技の試技順は、プログラムに記載した順による。
- (2) トラック競技の準決勝以降の組み合わせ及びそのレーン順は、ネット上に掲載する。トラック競技で次のラウンド進出者を決める際に、同記録があったときは、0.001秒単位で着差判定をして進出者を決める。それでも決定できないときは同成績とし、抽選により進出者を決める。

### 4. 競技について

- (1) トラック競技について
  - ① トラック競技の計時は、すべて写真判定装置を使用する。
  - ② レーンで行うトラック競技においては、欠場者のレーンは空ける。
  - ③ 短距離走では、競技者の安全のため、フィニッシュライン通過後も自分に割り当てられたレーン(曲走路)を走る。
  - ④ 競技規則 T R 16.8 を適用し、「T R 16.7」「T R 16.7.1」「T R 16.7.2」により、不正スタートをした競技者は1回で失格とする。
  - ⑤ スターターの合図は英語とする。(「On your marks」「Set」)
- (2) フィールド競技について
  - ① 投てき競技の計測は光波距離測定装置を使用する。ただし、砲丸投についてはメジャー計測とする。
  - ② 跳躍及びやり投の競技者は、助走路の外側(走高跳は助走路内)に主催者が用意したマーカーを2個まで置くことができる。また、サークルで行う投てき競技は、マーカーを1つだけ使用することができる。
  - ③ 棒高跳の競技者は、自分が希望する支柱の位置を競技が始まる前に担当審判員に申し出る。その後、位置を変更したい場合も担当競技役員に申し出る。
  - ④ フィールド競技における競技場内での練習は、すべて競技役員の指示に従う。
  - ⑤ 三段跳の踏切板は、砂場から男子12m、女子8mの地点に設置する。
- (3) 競技者は勝手に競技場所を離れること、ビデオ装置・カセットレコーダー・ラジオ・CD・トランシーバーや携帯電話もしくは類似の機器を競技場内に持ち込むことはできない。上記を含む不当な行為をした競技者には警告が与えられ、場合によっては当該競技から除外される。

### 5. 走高跳・棒高跳のバーの上げ方について

走高跳・棒高跳のバーの上げ方は、最後の一人になり優勝が決定するまで次のとおりとする(ただし天候等の状況により変更することもある)。

種目	練習	1	2	3	4	5	以降
走高跳 (男)	1m70 1m80	1m75	5 cm ずつ	2m00	2m03	2m06	3 cm
走高跳 (女)	1m35 1m45	1m40	5 cm ずつ	1m65	1m68	1m71	3 cm
棒高跳	任意の高さ	3m20	20 cm ずつ	4m20	4m30	4m40	10 cm

## 6. アスリートビブスについて

- (1) アスリートビブスは、各自の登録ナンバーを胸・背に付けること。ただし、跳躍種目の競技者は胸部または背部の片方だけでもよい。
- (2) トラック競技に出場する競技者は、写真判定用の腰ナンバーシールをパンツの右側に付ける。その際、判定カメラに写りやすくするために、右側のやや後方に付けること。
- (3) 4×400mリレーの第2・3走者は、コーナートップ判定（第3コーナー）のため、右側に腰ナンバーカードを付ける。

## 7. 競技用具について

- (1) 競技に使用する用器具は、棒高跳のポール以外はすべて主催者が用意したものを使用する。棒高跳用ポールの検定は、その競技開始前に跳躍場において競技役員が行う。
- (2) 個人の用器具は、練習用としても競技場に持ち込んではいならない。

## 8. 結果発表と抗議について

- (1) 各種目の結果発表は電光掲示板で行う。
- (2) 発表された結果に対する抗議は、同一日に次のラウンドが行われる場合には15分以内、それ以外は30分以内に、競技者自身または代理人が、審判長に対して口頭で行う。さらに、この裁定に納得できない場合は、預託金(1万円)を添え、総務に文書で申し出る。

## 9. 表彰及び対校得点について

- (1) 各種目3位までの入賞者には、表彰状を授与する。表彰は競技終了してから約30分後に行うので該当するものは表彰係の指示に従うこと。
- (2) 対校得点は、1位8点、2位7点、3位6点、以下、5、4、3、2、1点とする。最多得点校が2校以上ある場合、上位入賞数の多い方を上位とする

## 10. 一般注意事項

- (1) 商標等の規則については「競技会における広告及び展示物に関する規程」に基づき、本大会は規定が適応される競技会として扱う。
  - ① 上半身の衣類（シャツ・レオタード等）
    - \* 製造会社名/ロゴ：文字の高さ5cm以内、トータルのロゴの高さは5cm以内、面積40cm<sup>2</sup>以内の長方形（トレーニングウェアやTシャツは文字の高さ4cm以内トータルのロゴの高さは5cm、面積40cm<sup>2</sup>以内の長方形）とする。製造会社名/ロゴの表示は1カ所のみとする。
  - ② 下半身の衣類（ソックス・ショーツ・タイツ等）
    - \* 製造会社名/ロゴ：高さ5cm以内、面積40cm<sup>2</sup>以内のもの（ソックスは高さ3cm以内、面積6cm<sup>2</sup>以内）を1カ所表示することができる。
  - ③ バッグ
    - \* 製造会社名/ロゴ：40cm<sup>2</sup>まで（高さ5cm）のものを1個、表示することができる。
    - \* スポンサー名：40cm<sup>2</sup>まで（高さ5cm）のものを2個、表示することができる。
- (2) 応急処置、その他健康上の問題が生じた場合は医務室に連絡する。
- (3) 競技場での疾病・傷害等の応急処置は主催者が行うが、以後の責任は負わない。
- (4) 大会期間中の貴重品の保管は各自で行う。盗難にあってもその責任は負わない。
- (5) ユニフォームは各大学一種類のものに統一して着用すること。
- (6) 器具破損の場合は、当該選手の所属大学より原状復帰費用を徴収する。

- (7) 競技者の付き添いは一切認めない。従って、競技者以外は、トラックならびにフィールド内に立ち入る事はできない。
- (8) 集団応援は禁止とする。
- (9) ゴミは各自持ち帰ること。
- (10) メイン競技場の開場は1日目、2日目ともに7:30とする。

## 11. 新型コロナウイルス感染症対策

参加者は、「JAAF 陸上競技活動再開のガイダンス（第4版 2022.5.2）」を遵守し、感染拡大防止に努めること。

- \* 競技者及びチーム関係者は、大会1週間前から体調管理チェックシートを記入し、大会当日、各大学で集計し受付に提出する。
- \* 過去14日以内に政府から入国制限、入国後の観察期間を必要とされている国、地域等への渡航又は当該在住者との濃厚接触がある場合は参加を認めない。
- \* 当日、37.5度以上の熱のある者の参加を認めない。

### (1) 競技者

- ① 運動時以外（招集中・移動中・待機中を含む）のマスクの着用（熱中症に注意）、競技終了後の手洗い・洗顔を徹底する。
- ② 3密回避行動を心がける。
- ③ トラック種目は、フィニッシュ後、速やかに周囲の競技者との距離をとる。フィールド競技者は、待機場でのソーシャルディスタンスに気をつけること。
- ④ 競技用具使用後は手洗い・手指の消毒をする。
- ⑤ 運動中につばや痰を吐くことは極力行わない。
- ⑥ 体液の付着したゴミは自己責任で処理する。（各自持ち帰り）
- ⑦ 滑り止め（炭酸マグネシウム）は各自準備する。
- ⑧ 競技会終了後2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センターと等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。

### (2) チーム関係者（感染拡大状況により変更あり）

- ① マスク着用（熱中症に注意）、手洗い・洗顔を徹底する。
- ② 3密回避行動を心がける。
- ③ 声を出しての応援、集団での応援を行わない。
- ④ 競技者に付き添う場合の競技者とのソーシャルディスタンスを確保し、接触、会話に注意する。
- ⑤ 混雑を回避するため、競技者に付き添う者のウォームアップ場への立ち入りを最小限にする。
- ⑥ コーチがコーチ席から競技者に向かって話す際は、マスク着用の上、ソーシャルディスタンスを確保すること。
- ⑦ 競技会終了後、2週間は健康チェックをし、発熱などの症状があった場合には、最寄りの保健所、かかりつけ医、帰国者・接触者センターと等に報告・相談後、必ず大会主催者に報告すること。